



令和7年8月29日

大和市長 古谷田 力 様

大和市民参加推進・評価会議
会 長 長谷部 美由紀

令和6年度市民参加手続の実施状況に対する総合評価について（答申）

令和7年7月1日付で諮問を受けた標記の件について、本審議会で審議した結果、次のとおり意見を付して適正なものと認めます。

【付帯意見】

- 市民参加手続の実施に際しては、市民が当事者意識を持って意見を述べるができるよう、既存の政策の周知に努めるとともに、当該政策による効果や影響を明快に示す工夫を検討してください。特に意向調査においては、併せて質問項目を分かりやすい表現にするなど、一層の回収率向上に向けた取組に期待します。
- 施設に関わる変更等の事案においては、当該施設が目立つ場所や他のイベントを開催している場所などに市民参加手続を案内する二次元コードを設置するなど、施設利用者の目に留まりやすく、その場でも意見を出せるような工夫を検討してください。
- 市民と行政の双方にとって負担の少ない意向調査が実施できれば、実施頻度や意見提出数の増加が期待できると考えます。市民参加を活発にするため、まずは心理的ハードルを下げる観点から、意見提出、集計・分析のいずれも簡易に行うことができる仕組みの検討に努めてください。

以上